

# 全国調査等の結果に基づいた学習指導の改善に向けて

児童に活用力を育むためには、教員が意図的な指導を仕組むことも大切です。そこで、本号から複数回にわたり過去の全国学力・学習状況調査B問題等を活用した授業改善のアイデアと、児童に調査問題を解かせる際のポイントを紹介します。活用力は、一朝一夕で身に付くものではありませんが、単元を構成する際に活用力を育成する授業を複数回位置付けること、初見の問題文を正しく読み取り、設問に応じた解答ができるよう指導を行うことなどが求められます。



## 課題が大きい設問

「全国学力・学習状況調査 H26～H30年度 B問題 課題の大きい設問」  
 (県平均が50%未満かつ全国平均を下回る設問 及び 県平均が全国平均を3ポイント以上下回る設問)

※学習指導要領の領域及び評価の観点では、複数項目にわたる設問があり、問題数と合計が一致しない場合もある。

### 【国語】9問

| 学習指導要領の領域等 |      |      |                      | 評価の観点        |         |      |      |                 | 問題形式 |     |     |
|------------|------|------|----------------------|--------------|---------|------|------|-----------------|------|-----|-----|
| 話すこと・聞くこと  | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式  | 短答式 | 記述式 |
| 3          | 7    | 4    | 0                    | 7            | 3       | 7    | 4    | 0               | 2    | 0   | 7   |

### 【算数】22問

| 学習指導要領の領域 |      |    |      | 評価の観点        |         |              |                 | 問題形式 |     |     |    |    |
|-----------|------|----|------|--------------|---------|--------------|-----------------|------|-----|-----|----|----|
| 数と計算      | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 算数への関心・意欲・態度 | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 選択式  | 短答式 | 記述式 |    |    |
|           |      |    |      |              |         |              |                 |      |     | 事実  | 方法 | 理由 |
| 10        | 8    | 9  | 8    | 0            | 16      | 1            | 5               | 7    | 5   | 4   | 2  | 4  |



## 送付予定の設問

| 教科 | 年度  | 問題番号 | 問題の概要   | 学習指導要領の領域等        | 評価の観点                           | 問題形式        |
|----|-----|------|---|-------------------|---------------------------------|-------------|
| 国語 | H30 | 1三   | これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を上げ、 <input type="text"/> を書く | 話すこと・聞くこと<br>書くこと | 国語への関心・意欲・態度<br>話す・聞く能力<br>書く能力 | 記述式         |
|    | H26 | 2二   | 付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く   | 書くこと<br>読むこと      | 国語への関心・意欲・態度<br>書く能力、読む能力       | 記述式         |
| 算数 | H29 | 5(2) | 与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く                  | 図形<br>数量関係        | 数学的な考え方                         | 記述式<br>(理由) |
|    | H26 | 4(2) | 二人の①のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く                                      | 数と計算              | 数学的な考え方                         | 記述式<br>(事実) |

次ページでは、国語科における「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」に関する問題について、平成30年度 B 大問1三に基づいて説明します。



# 話すこと・聞くこと、書くことに関する設問

平成30年度 国語B 1 三



●話し合いの場で【聞き手】の育成を図る単元や授業づくりをしよう。

## 調査結果と指導の充実・改善のヒント

### 出題の主旨

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる

### 実施時の反応率

| 解答類型 | 県    | 全国   |                        |
|------|------|------|------------------------|
| 1    | 33.7 | 33.8 | ○ 全ての条件を満たす            |
| 3    | 15.0 | 16.1 | × 自分の考えを書けていない         |
| 8    | 18.9 | 18.9 | × 示された考えを踏まえることができていない |

### 指導の重点

【聞き手】を育成する

- ア 自分の考えを持って聞かせる
- イ 聞き方を身に付けさせる
- ウ 考えのまとめ方を身に付けさせる

詳細は、H30全国調査小学校国語報告書p. 42、43を参照

### 聞き手を育成するための話し合いの進め方の例

#### ア 考えを持たせる

テーマに対する自分の考えを持たせた上で話し合いに参加させる。

#### イ 聞き方を身に付けさせる

全体で友達の意見を聞く際の視点を確認させ、それに沿ったメモを取らせる。

#### ウ 考えのまとめ方を身に付けさせる

1 自分の考えと友達の考えを比較させる。

2 友達の考えを踏まえ、テーマについて考え直させ、自分の考えをまとめさせる。

## 調査問題における解法のポイント

3 解答の見本を参考に、条件に沿ってテーマに対する自分の考えを書く。

● ①、②、③は前出の条件①から④に対応した文章です。

青木

① ② ③

自分の思いが相手に伝わることはあると思います。

③は言っていました。そのような使い方をしても本来の意味とは異なる使い方をしていると田中。

相手の理解を確かめながら言葉を使っています。

金子

① ② ③

田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。

③これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

2 問題文に示されている解答の見本を基に、条件を具体化した際の書き方を確認する。

● 全国調査では、全ての条件を満たさないと正答にならないことを児童に伝え、授業で経験をさせることが大切です。

④ 字数制限

〈条件〉① 発表した意見を取り上げること

② 取り上げたことに対する自分の考えを書くこと

③ これからのことを書くこと

④ 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

〈条件〉

○ の金子さんや青木さんのように、代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの

意見を取り上げ②その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。

③ ④ 委員会が話しているように「これから言葉をもどくように使っていきたいか」について書くこと。

① 八十以上、百字以内にまとめて書くこと。

三 松山さんは「話し合いの様子の一部」で、自分の考えを話します。あなたが松山さん

なら、どのような考えを話しますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

問われていること 着目する資料

【条件付き記述式問題を解かせる際のポイント】

大問のリード文から、問われていること、着目する資料、

解答の仕方を読み取り、指示に従って自分の考えを書く。

【解説の手順】

1 問題文を読み、問われていること、条件にそれぞれの番号を付ける。